

研究の目的

VR技術は娯楽面だけでなく教育や医療などの様々な分野で将来性のあるものだが、現状VRの普及率は低い。このようなVR技術を無駄にするのは惜しいと思い、広める方法はないかと考えた。

実験方法

- なぜVRの普及率が低いのかを確かめるため、VRに関する印象調査を行う。
「VRに抵抗があるか否か」とその理由について問うアンケートを制作し、回答してもらう。
- 上記の結果からVRの問題点や懸念点をピックアップし、それらの改善策を考える。
- 今回は「VRについて知ることで抵抗感をなくす」ためにVR体験会を実施する。
体験会を用意した簡単なスライドを用いてVRについての説明を行い、その後にVRゴーグルを用いて実際に体験してもらう。
この体験会前後での抵抗感の変化をアンケートによって調べる。
- 体験会にて実施したアンケート結果をまとめ、「VRについて知る」ことで抵抗感はなくなるのかを確かめる。

結果

1.で行ったVRに関する印象調査の結果として、104人からの回答を得られた。
88%(91人)がVRに抵抗がなく、残りの12%(13人)は抵抗があると回答した。
抵抗があると回答した人の意見では「VRに関して知らないことが多いから」という回答が多かった。
また、82%(85人)がVRを使用したことがないと回答している。

3.で行った体験会にて得られた結果は以下の通りである。

【VR体験会実施前】

VRに抵抗感 あり:8%(1人) なし:92%(12人) (右図)

どのような抵抗感があるか：現実と離れるのが怖い

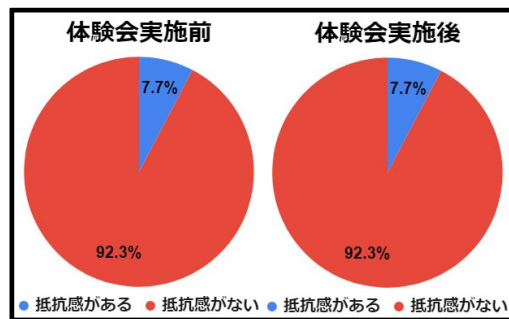
なぜそのような抵抗感があるのか：VRはまだまだ知らないことが多いから

【VR体験会実施後】

VRに抵抗感 あり:8%(1人) なし:92%(12人) (右図)

どのような抵抗感があるか：現実と離れるのが怖い、身体的な負担がある

なぜそのような抵抗感があるのか：VRはまだまだ知らないことが多いから



VR体験会実施前後で抵抗感がなくなることはなかったが、実際に体験することで新たな抵抗感が見られる。

考察

抵抗があると回答した人の意見に「VRはまだまだ知らないことが多い」という回答が多く見られたことから、体験会で説明した内容は抵抗感を取り除くには不十分だったと考えられる。

また、体験会を終えた後に「身体的な負担がある」という意見が新たに見られたことから、VRについてただ知るだけでは必ずしも抵抗感を取り除けるわけではなく、かえって抵抗を感じさせる場合がある。

したがって、VRに対する抵抗感を取り除くために「VRについて知る」ことは最善の方法とは言えない。

VRに対して抵抗を持っていない人が92%と非常に多いにも関わらず、82%の人がVRを使用したことがないと回答している。このことから、VRの普及率が低いのはVRに対する抵抗感が主な理由ではないようだ。

今後の展望

1.で行ったVRに関する印象調査に回答したのはおよそ9割が学生であり、結果に偏りが生じている可能性がある。今後はより多くの様々な立場の方からの意見を集めること。

また、今回の実験では「VRに対して抵抗感がある」と回答した人に注目しているが、「VRに対して抵抗感がない」と回答した人には「抵抗がないにも関わらずなぜVR機器を購入しないのか」といった質問をすべきだった。よって今後は「抵抗感」だけでなく費用面や準備にかかる労力等にも注目していきたい。

参考文献(URL短縮使用)

- ・ おすすめのVRサービス (<https://x.gd/J8LOE>)
- ・ VRゲームの始め方 (<https://x.gd/C6VoB>)
- ・ 仮想現実(VR)とは? (<https://x.gd/iuoo3>)
- ・ VR(仮想現実)とは? (<https://x.gd/rN6a5>)
- ・ VR(仮想現実)動画とは? (<https://x.gd/MMuyK>)
- ・ 2025年以降のVRの展望は? (<https://x.gd/E0z4e>)